

管理人の職——聖なる信頼

十二使徒定員会

クエンティン・L・クック長老

〔わたしたちは〕 そうすることが神の御心であるという信仰に基づいて同胞に仕え〔ます。〕

わたしたちは苦難の時代に生きています。多くの人が、神に報告する義務などないと考え、自分や他人に対して個人的な責任や管理人の職はないと思っています。多くの人が自己の欲求を満たすことを求め、自分のことを最優先し、義よりも快楽を愛しています。自分が兄弟の番人だとは考えていないのです。しかし教会では、これらの管理人の職は聖なる信頼であると信じています。

最近のことですが、名高いユダヤ人指導者とラビの一人がソルトレーク盆地を訪れ、教会のウェルフェアスクウェア、人道支援センター、家族歴史図書館、ユタ州オーカーマウンテン神殿のオープンハウスなどを見学しました。見学が終わると、アメリカ在住の非常に著名なラビの一人が、見学で感じたことを語りました。

1

そのラビは、タルムード²に基づいたユダヤ人思想家の概念を引用して、人が優しく寛大になる理由には二つあると指摘しました。一般の人にとって、病人を見舞い、貧しい人を助け、同胞に仕える理由は、そうすることが正しいことだし、そうしていれば自分も困ったときに助けてもらえるだろうと思うからです。これは良いことであり、地域の助け合いの精神を高めますが、そうすることが神の御心であるという信仰に基づいて同胞に仕える方が、気高い理由であり、高貴な動機であると、このラビは説明しました。

ラビは、この訪問を通じて、末日聖徒は福祉や人道支援、神殿での救いの業を、そうすることが神の御心だからという信仰に基づいて行っていることが分かったそうです。

報告する義務があると感じることは、神を愛せよという最も大切な戒めの一部ですが、これは「強制なさらぬ御方への服従」とも呼ばれます。³ わたしたちが正しいことを行おうとするのは、天の御父を愛し、御父に喜んでいただきたいからであって、強制されているからではありません。

天上での戦いは、サタンがすべての人を強制的に従わせると言った後に起こりました。それは拒否されました。その結果、この世の生活において選択の自由があるのです。しかし、選択の自由には報告の義務が伴います。わたしたちは「裁きの日に自分自身の罪に対する責任を負うように」と主はおっしゃっています。⁴ 報告の義務と管理人の職の原則は、教会の教義の中で非常に重要です。⁵

教会に置いては、管理人の職は物質面での信頼または責任にとどまりません。キンボール大管長はこう教えています。「わたしたちは自分の体、心、家族、財産を管理しているにすぎません。忠実な管理人になるには、義にかなって治め、自

己に属するものを世話し、貧しい人、乏しい人に目を向ける必要があります。」6

今日は、管理人の職の二つの分野について話します。第1の分野は、自分自身と家族に対する管理人の職、第2の分野は貧しい人や困っている人に対する管理人の職です。

報告の義務と管理人の職について教える際、主はよく土地を使ったたとえをお使いになりました。幼いころ、わたしは夏によく祖父母の牧場に遊びに行きました。電気も水道も水洗トイレもありませんでした。しかし、祖父母の平屋建ての家の横には泉がわいていました。泉は小さな池を作り、池の水は透き通っていてきれいでした。その池から水を運んで飲料水や料理、行水、洗濯に使うのです。わたしは祖母が水を運ぶのを一日に何度も手伝いました。祖父母は命を支えるこの泉を非常に大切にしており、これを守るために特別な注意を払っていました。

多くの歳月が流れ、祖父は90代前半になりました。祖父はすでに農場での暮らしを終えていました。維持管理ができなくなったためです。わたしは祖父を車に乗せ、祖父が愛した牧場に連れて行きました。ところが、あんなに牧場を見たがっていた祖父の期待は裏切られました。泉を保護していた柵は壊れ、牛が泉を荒らし、貴重なわき水は汚れ切っていました。荒らされ、汚れてしまった泉を見て祖父は動揺しました。祖父にとっては、職業人生を通じてずっと守ってきたものが汚されてしまったのです。あれほど大切にしていた、生命線とも言える泉を自分は守り抜くことができなかつたと祖父は感じていたようでした。

あの清らかな泉が守られていない間に汚されてしまったように、わたしたちは徳や貞潔がきちんと守られていない時代に生きています。7 道徳的な清さには永遠の価値がありますが、それが大切に守られていないのです。天の御父は、霊の子供たちをこの世に送り出し、彼らとその創造の目的を達するために、わたしたちにある手段をお与えになりました。その命を生み出す泉を汚れから守るよう、御父は命じておられます。それは命を保つために牧場の泉を守る必要があったのと同じです。これが、徳と貞潔が御父の天の計画の中で非常に大切にされている理由の一つです。

泉が汚れてしまったのを見て祖父があまりにも悲しんだため、わたしたちは手入れをし、柵を設けました。すると、泉には美しさと清らかさが戻りました。

主の道徳の標準を教えることは、主イエス・キリストに仕えるわたしたちに与えられた神聖な責任です。この標準は、主のすべての子供たちに共通のもので、思いや行いが汚れていれば、標準を犯していることになります。主は「わたしは、……ほんのわずかでも罪を見過ごしにすることはない」と言っておられるからです。8 中には、自分の汚れた行いの言い訳をしようとす人もいます。

ジョン・ホームズの「トーク」という詩の中で、ニューイングランドの耳の不自由な年老いた船大工が、若者に合理的に考えることについて教えます。若者は自分が学んだことについてこのように語っています。「ぼくは気づいてなかったかもしれない、どんなに造るにせよ船は水の上を走らなきゃならないってことを。海に言い訳は通用しないんだ。」9

「この街（ラスベガス）での経験は他言無用」という言葉がありますが、わたしはユタ州サビア郡にある「サビア郡での経験を……友達に話そう!!!」という看板が好きです。神に報告しなければならないことを悟ると、自分の行いを正当化するのがばかげていることが分かります。悪い行いを正当化する人は、自分の手で目をふさいでいる子供のように、自分に周りが見えないから周りの人にも自分が見えないと考えているのです。自分の行いについて主に報告することを考えてみれば、自分の説明が正当かどうか分かるでしょう。

神聖な道德の標準に反する行いにすでにかかわっている人もいます。あの泉が清く汚れのない状態に戻ったように、悔い改める人はだれでも救い主の贖いを通じて元に戻ることを理解してください。悔い改めは困難であり、打ち砕かれた心と悔いる霊が求められます。10 しかし、悔い改めの段階を義にかなって歩む人には、預言者アルマが語った言葉が当てはまります。道徳的な罪を犯した息子コリアントンに、アルマはこう言いました。「さて、わが子よ、あなたはこれからもう、これらのことに思い悩まされることなく、ただ自分の罪にだけ心を悩まし、その悩みによって悔い改めに導かれるようにしてもらいたい。」11 救い主はこう言っておられます。「見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」12

家族に対する管理人の職に関して、わたしたちは主に報告するときに、地上での責任について報告を求められると教えられています。二つの大切な質問は家族に関するものです。第1に伴侶との関係、第2は子供たち一人一人との関係についてです。13

わたしたちは優先順位を間違えがちです。わたしたちには子供が物質面で安全で豊かに生活を送れるようにする義務があります。しかし、この世の財産や富を大切にしすぎる親もいます。キリストの福音を子供の心に深く浸透させることに熱心でない親もいます。14 宗教的な規律を家庭で守ることは、衣食住を与えるのと同様に大切です。親はまた、子供が才能を見いだして伸ばすのを助けることができます。わたしたちには、与えられた才能を伸ばす責任があります。自分の時間や才能に対して責任を持つことを教えられていない子供は、世の中に蔓延する愚かで不義な行いにますます陥りやすくなります。15 『家族——世界への宣言』には「家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります」という警告の言葉が記されています。16

二つ目の管理人の職は貧しい人の世話をすることです。人は皆時々貧しさを経験します。わたしたちは困っている人に対する管理人です。この教えを語る時、主はかなり強い語調を用いておられます。「……わたしの造った豊かなものの中から取りながら、わたしの福音の律法に従って貧しい者や乏しい者に物を分け与えることをしない者は、悪人とともに、地獄で苦しみながら見上げるであろう。」17 わたしたちは主がこの地上で下さった祝福の管理人として報告する責任があります。

先に話したユダヤ人の指導者たちは、断食し、その後断食献金を惜しみなくささげるという原則について、特に感銘を受けていました。世界中の教会員が毎月

断食して、困っている人を助けるために自由意志で献金することは驚嘆に値すると思ったそうです。

ウェルフェアスクウェアを訪問したラビたちは、教会員が、苦勞している人々のことを思いやり、この不況下にあっても惜しみなく献金し、貧しい人を助けようとしていることを知って感心していました。

わたしはビショップに召されたとき、会員に助けを求めるときに気をつけることについて、前ビショップのラッセル・ジョンソン兄弟から助言を受けたことを覚えています。彼は「大きな犠牲を払ってでもすべての提案に応じようとする会員がいる」と言い、夫を亡くした80代の女性について話しました。夫と息子の最期を看取った女性で、つましい暮らしにもかかわらず、常に奉仕の要請にこたえようとするのだとジョンソンビショップは言っていました。忠告のとおりでした。献金や奉仕が必要だとわたしが言うと、真っ先に協力してくれるのはたいていサラでした。

ある土曜日、別の姉妹が電話をかけてきました。「ビショップ、すぐ来て、サラを助けてください。」80歳のサラがはしごのてっぺんに上って、隣人であるこの姉妹の家の雨どいを掃除していると言うのです。サラが落ちるのではないかと心配で、姉妹はビショップに説得してほしいと頼みました。

だれもがサラのようになれるわけではありません。すべての要求に即座に対応し切れず、後ろめたさを感じる人もいます。マックスウェル長老がよく使った、リンドバーグの言葉を引用したいと思います。「わたしは生涯をかけても、わたしの心にかかっているすべての人の要求を満たしてあげることはできない。」18 ベニヤミン王はこう教えています。「これらのことはすべて、賢明に秩序正しく行うようにしなさい。人が自分の力以上に速く走ることは要求されてはいないからである。」19 しかし王は、勤勉に励まなければならないとも述べています。

教会中の至る所で聖徒たちが、求められる場へ行き、精いっぱい努力してキリストのような奉仕を行っているのを見るとうれしくなります。会員の貢献のおかげで、教会は目立たずひそかに速やかに、世界中の困っている人に援助の手を差し伸べています。20 教会は、フィリピン、太平洋諸島、インドネシアの自然災害にすでに対応しています。

昨年、教会員は、マーティン・ルーサー・キング3世の率いる人道支援団体と連携を取りながら台風「グスタフ」の被災者を支援しました。キング氏は後にソルトレーク・シティーを訪れ、こう述べました。「わたしは最初、人道支援に協力してくださったことに対して感謝を述べるために来ました。しかし、教会員の本質はもっと深遠なものだということがすぐに分かりました。人道支援センター、ウェルフェアスクウェア、神殿のオープンハウスを見て、皆さんが支援してくださった理由を知り、感謝の念が深まりました。」

どのような管理人の職を果すときにも、わたしたちはイエス・キリストに従います。わたしたちはイエスが教えと模範を通してお命じになったことを行おうとしています。惜しみなくささげ、キリストのような奉仕をしている教会の会員たち

に心から感謝します。

イザヤは、断食し、飢えた者に食べさせ、裸の者に着せる人に対して、「あなたが呼ぶ時、主は答えられ〔る〕」と感動的な言葉で約束しています。21 イザヤはこう続けています。「飢えた者にあなたのパンを施し、苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、……主は常にあなたを導き、……あなたは……水の絶えない泉のようになる。……〔そして〕あなたは代々やぶれた基を立て〔る〕……。」22

わたしの望みは、わたしたちが個人として、また家族として、管理人の職についても一度振り返ることです。わたしたちには管理人の職に対して責任と報告義務があります。わたしたちが最終的には神に報告する責任があることを踏まえながら、管理人の職について振り返り、この人生において、強制なさらぬ御方からいつも離れずにいることができるよう、わたしは祈ります。

困っている人々に仕え、彼らを助けるといふ、愛ある忠実な預言者からの勧めにわたしは感謝しています。彼の勧めに従うとき、「だれでも忠実で、正しく、賢い管理人であると認められる者は、主の喜びに入り、永遠の命を受け継ぐであろう」といふ主の約束を受けるにふさわしい者となれることをわたしは知っています。23

この神聖な真理についてイエス・キリストの御名により証します、アーメン。

注

1. ラビ・ハスケル・ルックステイン、前ニューヨークラビ委員会会長、Synagogue Council of America 会長およびNational Rabbinic of the UJA 議長
2. 「タルムード。タルムードとは、数千年にわたるユダヤ人の知恵と口伝律法が書き記された文書群で……このラビは、タルムードに出てくる表現を引用している。」（アディン・スタインサルツ、*The Essential Talmud* [2006年]、4）
3. ジョン・フレッチャー・モールトンの言葉、クレイトン・M・クリステンセン、“The Importance of Asking the Right Questions”（サザン・ニューハンプシャー大学学位授与式でのスピーチ、2009年5月16日）、3で引用；申命6：4-7も参照
4. 教義と聖約101：78
5. 教義と聖約20：71参照。ただし、責任を負うことができる者は皆、悔い改めてバプテスマを受けなければならない（教義と聖約18：42参照）。責任を負うようになる前に死ぬ子供たちは日の栄えの王国に救われる（教義と聖約137：10参照；教義と聖約29：46-47、50も参照）。
6. スペンサー・W・キンボール「福祉活動：福音の実践」『聖徒の道』1978年2月号、119参照
7. グレゴリー・キャッツ、“U.K. Health Booklet's Message: Teen Se Can Be Fun,” *Deseret News*, 2009年7月15日付、A9
8. 教義と聖約1：31
9. “Talk,”ジョン・ホームズ詩集<http://hdl.handle.net/10427/14894>に収録
10. 教義と聖約20：37；2ニーファイ2：7；アルマ39章；3ニーファイ9：20参照。エズラ・タフト・ベンソン大管長は、打ち砕かれた心と悔いる霊について、次のように説明している。「神の御心に添った悲しみは、……自分の行いが神に対す

る罪であることを深く認識することです。また……〔次のことを〕はっきりと自覚することでもあります。主はわたしたちの罪のゆえにあらゆる毛穴から血を流されたのです。霊的に、また精神的にこのような苦しみを味わうことについて、聖典には、『打ち砕かれた心と悔いる霊』を持つという表現が用いられています。」「大いなる改心」『聖徒の道』1990年3月号，5

11. アルマ42：29

12. 教義と聖約58：42

13. ロバート・D・ヘイルズ，“Understanding of the Heart,” *Brigham Young University 1987--88 Devotional and Fireside Speeches* (1988年), 129参照；2ニーファイ9：41も参照

14. ジョセフ・フィールディング・スミス，*Take Heed to Yourselves!* ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編（1971年），221参照

15. マルコ7：20－23参照

16. 『家族——世界への宣言』『リアホナ』2004年10月号，19；ラッセル・M・ネルソン「あなたの家を整えなさい」『リアホナ』2002年1月号，80－83も参照

17. 教義と聖約104：18参照

18. アン・モロー・リンドバーグの言葉，ニール・A・マックスウェル「賢明に秩序正しく」『リアホナ』2001年12月号，20で引用

19. モーサヤ4：27

20. 過去10年にわたり，教会は9億ドルの寄付と人道支援物資の援助を行い，教会の男女は膨大な時間を費やして奉仕活動を行ってきた。例えばハリケーン「カトリーナ」の被災地では，延べ33万時間に相当する熱心な奉仕が行われた（この支援作業を監督した地域七十人のジョン・S・アンダーソン兄弟からの報告）。

21. イザヤ58：9

22. イザヤ58：10－12

23. 教義と聖約51：19。マタイ25：34－46も参照